



「静岡おもいやりナビ実証実験」のデモンストレーション
— ショーン 静岡市葵区

携帯端末に大道芸情報

おもいやり
ナビ実証実験
静岡市長らがデモ

どこでもコンピュータ
— を使えるユビキタスネ
ットワーク技術を利用
し、車いす利用者などに
情報発信する静岡市自律
移動支援プロジェクト
「静岡おもいやりナビ実
証実験」のデモンストレ
ーションが三日、同市葵
区の市街地で行われた。
同プロジェクト推進協

議会スーパードバイザ
ーの坂村健東大学院教
授や小嶋善吉市長、二〇
〇六年しずおかクイーン
の吉原小百合さんらが、
携帯端末を手に「大道芸
ワールドカップ」が開か
れている同区の中市街
地を歩いた。

大道芸が行われている
会場に近づくと、携帯端
末にパフォーマンスの見
どころを紹介する動画が
出現。続いて大道芸人の
特徴、パフォーマンスの
内容、日程などを見るこ
とができる画面に切り替
わった。

同市葵区の市街地には
十一カ所に電子タグや無
線マーカーが設置され、
携帯端末を持って近づく
と、周辺の各種情報が画
面上に表示される。携帯
端末を使って道案内の情
報を得たり、周囲の人に
助けを求めたりすること
もできる。

同プロジェクトは市と
国土交通省が連携して実
施している。十二月には
車いすの利用者が携帯端
末を使って、天候や目的
に応じて最適なルート情
報を取得しながら移動す
る実証実験に取り組む。